

有村治子の国会質問 全国紙に掲載

NHK 全国中継があった参議院予算委員会で有村が自由民主党を代表して質問に立ち、翌日の全国各紙に掲載されました。

<二重国籍について>

平成 28 年 10 月 7 日 産経新聞 1 面

二重国籍 対策を明言

首相「閣僚ら書類証明も」

安倍晋三首相は6日の参院予算委員会で、二重国籍者が外相、防衛相など外交・安全保障に深く関わる役職に就く可能性について「問題点を整理しなければならぬ。研究したい」と述べ、政府として対策を講じる方針を明言した。

閣僚や首相補佐官については「(二重国籍でないことを)戸籍など書類で証明してもらおうことも必要かもしれない」と述べ、外国籍を外すことが望ましいとの考えをにじませた。

現行法では、二重国籍者は外交官にはなれないが、国会議員や政務三役、公務員は禁じられていない。自民党の有村治子元女性活躍担当相は、国家機密を知る立場にある防衛省職員や要人を警護する警察官などに二重国籍者が就ける点を指摘し「外国のスパイによる

典型的な標的が重国籍者だ。安全保障上、万全の態勢といえるのか」と質問した。首相は「指摘の通り、国家機密や交渉にかかわる人々は、適切な人物を選ぶよう運営してきた。しかし、そのように運営されない可能性も排除されない」と述べ、研究が必要だとした。

まとめていただき、一定の段階で与野党を交えた議論を行うことを考えている」と改めて述べた。

与野党は6日の参院予算委員会理事会で、平成28年度第2次補正予算案に関するし、11日に集中審議と締めくくり質疑を行って採決する日程を決めた。補正予算案は11日の本会議で与党などの賛成多数で可決、成立する見通し。

|| 2面に「法改正、及び腰」

参議院議員
比例代表(全国区)

ありむら治子

www.arimura.tv

要職の国籍確認検討

首相「適切な人物選ぶ」

安倍晋三首相は6日の参院予算委員会で、二重国籍

状態の人物が外相や防衛相など政府の要職に就任できる現状について「問題点は整理しなければならぬ。閣僚任命の際は、戸籍などの書類で証明してもらったとしても必要かもしれない」などと述べ、国籍確認の徹底を検討する考えを示した。自民党の有村治子氏への答弁。

首相は「国家機密や外交交渉に関わる人は、適切な人物を選ぶのが当然だ」とも語った。有村氏は「外交官は二重国籍を禁じられているが、外相ら閣僚は認められている。安全保障上の問題はなにか」と質問。台湾籍が残っていた民進党の蓮舫代表を念頭に「最高機密が集中する首相官邸で、かつて二重国籍の方が首相補佐官になっていた」とも指摘した。日本維新の会も3日の衆院予算委で二重国籍の問題点をただしたほか、国会議員の二重国籍状態を禁じる法案も既に提出している。

現行法では二重国籍でも被選挙権や閣僚の資格を失わないが、衆院東京10区、福岡6区両補選を控え、自民と維新が民進党をけん制する狙いもありそうだ。

二重国籍問題整理の意向 首相

安倍首相は6日午前の参院予算委員会で、二重国籍者が外交交渉を担う閣僚や副大臣などに就任する可能性があることについて「適切な人物を選ぶことが当然求められるが、そのように運営されない可能性も排除されない。しっかり研究していきたい」と述べ、制度

上の問題点を整理する考えを示した。現行法では、外国籍を有する二重国籍者は外交官になれないが、国会議員や閣僚などは禁止する規定はない。首相は「(就任時に)戸籍など書類で証明してもらったとしても必要かもしれない」と指摘した。